

| | | | | | |
|------|--------------------|----|----------|--------------|-------|
| No. | 15-1-11 | 場所 | 高森町 胡麻目川 | 次世代への継承キーワード | |
| 名称 | 胡麻目川の県道飯島飯田線 新川橋下流 | | | 避難行動 | |
| 災害現象 | 道路の被災 | | | 河川 | 天竜川本川 |
| 補足事項 | | | | 支流 | 胡麻目川 |

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：〇〇
 災害のあとに居立ちて
 我しばし 驚きのあまり
 涙すら出ず

ザザザザ、ドドドド、一度に飛行機が百代位おちたかと思われる音、今なお私の耳より去らない。
 小学校の下のぬけ始めた時の音なのだ。
 せきを切ったように、どんどんうしろから、
 家の中に泥水が入ってくる。
 田圃や畑どころか、家が危ない。子供と年寄りを早くどこかへ避難させなくては…。
 無我夢中で、田圃で一生懸命水を防いでる主人を呼び、**五才の長男と、はしかで真っ赤な顔の一才八か月の長女を母におんぶしてもらい、お位牌とおしめの風呂敷つつみだけもった着のみ着のままの姿で、もう足首まで水のついている家を出た。**
 道も畑もなく、一面が泥水の川になり低い方へ低い方へといきおいつけて流れていく。
 おそれ、おののく人々のざわめき、
 あたりはだんだん薄暗く、無情な雨はますます激しく降りつづける。
 (「災害の市田郷」より)

記録



胡麻目川の剣道飯島飯田線(上県道)、新川橋下流付近の惨状

出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.33/「災害の市田郷」 p.67

備考

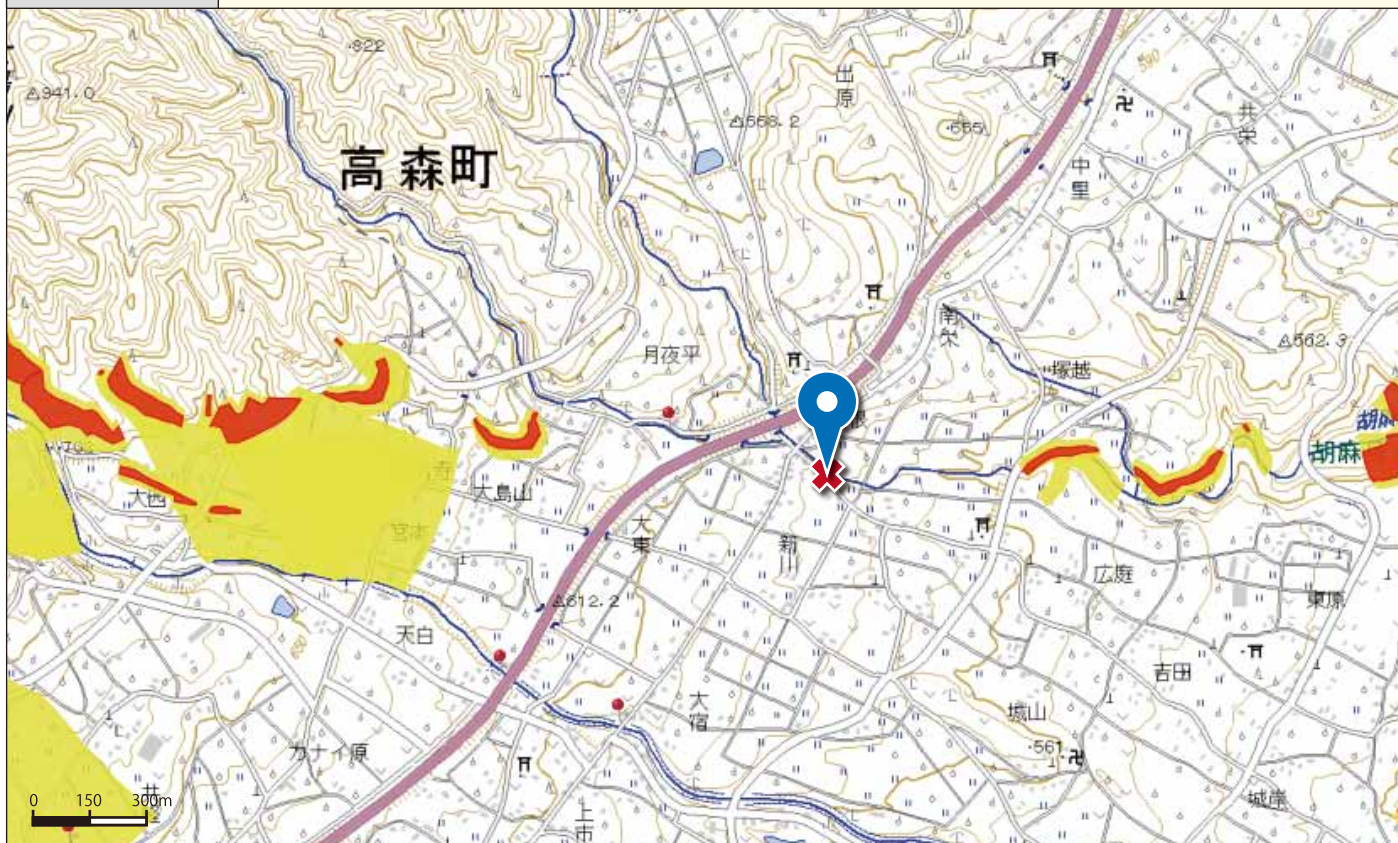
| | | | | | |
|-----|---------|----|----------|----|-----------|
| No. | 15-1-11 | 場所 | 高森町 胡麻目川 | 緯度 | 35.563861 |
|-----|---------|----|----------|----|-----------|

| | | | |
|----|--------------------|----|------------|
| 名称 | 胡麻目川の県道飯島飯田線 新川橋下流 | 経度 | 137.868236 |
|----|--------------------|----|------------|

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。